

# 大雪の検証結果と今後の対応について

## 1 平成26年2月14日からの大雪について

### (1) 県内の積雪量

秩父 98.0cm(2/15 8時観測) ※観測史上1位  
 熊谷 62.0cm(2/15 6時観測) ※ "



積雪状況(秩父市街)



積雪状況(秩父市山間部)

### (2) 被害状況

ア 人的被害	462人	}	加須市	67歳女性	ベランダ屋根の崩落により下敷き
死亡	3人		深谷市	70歳女性	屋根からの落雪により下敷き
重症	28人		横瀬町	78歳男性	屋根からの落雪により下敷き
中等症	135人				
軽症	296人				

#### イ 建物被害

##### (ア) 住家被害

半壊 1件(飯能市)、一部損壊 9件

##### (イ) 県有施設

「くまがやドーム」で膜屋根が破損する被害

#### ウ 農業被害

被害額合計 229億円



くまがやドームの膜屋根破損状況



農業用ハウスの破損状況(秩父市)

### (3) 県等の災害対応

#### ア 災害対応の体制

2月14日 9:22	危機管理防災部及び県土整備部が待機体制(情報収集、初動対応)を施行
2月15日 8:00	危機管理防災部、県土整備部及び県警察本部が大雪被害対策体制を施行
2月15日 11:00	農林部が農業被害情報を収集開始

#### イ 車両の立ち往生等への対応

大雪により道路上で立ち往生する車両など秩父市内6か所の58人に対し、ヘリによる物資投下及び救出作業、県土整備部による除雪等により、17日14時53分までにすべての要救助者を救助

#### ウ 孤立集落への対応

道路の通行止めにより孤立集落が発生、除雪に時間を要することが判明したため、物資輸送や救出救助、ヘリによる救急搬送を実施

##### ○ 孤立集落の把握・解消状況

- ・2月17日16時現在 7市町 33地区 1,427世帯
- ・2月27日15時 孤立解消



防災ヘリによる救出



防災ヘリ、県警機動隊による物資輸送

#### エ 災害救助法の適用(2月17日)

秩父市、飯能市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、神川町

### (4) 防災関係機関等の活動

#### ア 自衛隊への災害派遣要請(2月17日 18:30)

秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町における孤立者等の救援・救助等撤収要請(2月23日 12:00)

#### イ 三県防災協定等に基づく除雪支援

新潟県及び新潟県十日町市による除雪応援

#### ウ 国土交通省関東地方整備局・北陸地方整備局(TEC-FORCE)による除雪支援

#### エ 埼玉県建設業協会による地域を越えた除雪の支援

#### オ 政府調査団による秩父地域雪害被害視察(3月10日)



自衛隊による孤立世帯への物資輸送



新潟県による除雪応援

## 2 検証経過



## 3 論点、対応の方向性と主な取組

	論点	対応の方向性	主な取組
情報収集・共有・発信	<p><b>よかった点</b> 本庁職員を連絡員として地域機関に派遣したことで情報入手がスムーズになった。</p> <p><b>課題</b> 県の災害対応が見えにくかった。</p>	<p><b>的確な情報収集・共有の徹底</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■本庁内、現地地域機関における情報共有の仕組みづくり</li> <li>■市町村等との情報共有機能の強化</li> <li>■防災情報システムの機能活用・拡充</li> <li>■積極的広報による県の対応状況PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本庁から現地地域機関への災害対策緊急要員の派遣</li> <li>○市町村情報連絡員の増員、市町村担当制の導入</li> <li>○災害オペレーションシステムの整備、防災情報システムの情報発信機能の活用</li> <li>○記者レクの定期的実施（県HPへの掲載）、プレゼン能力を重視したスポークスマンの選定</li> </ul>
災害対応に係る体制	<p><b>よかった点</b> 部隊調整（自衛隊、警察、防災航空隊）の場を設けたことで救出・救助、物資供給等を円滑に実施できた。</p> <p><b>課題</b> 県の配備体制（トップ、呼称、人員）が不透明で分かりにくかった。</p>	<p><b>体制の強化及び関係機関との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■災害対応体制配備基準の明確化</li> <li>■体制配備の伝達手段の強化</li> <li>■初動要員の確保</li> <li>■災害対応に係る装備の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害即応室の新設</li> <li>○職員参集支援システム（参集連絡メール）の活用</li> <li>○注意報等に基づく配備体制の前倒し実施</li> <li>○雪対応資材等（かんじき、融雪剤等）の確保</li> </ul>
道路機能の確保	<p><b>よかった点</b> 三県防災協定、建設業協会、TEC-FORCEが機能し、除雪困難箇所の解消が早まった。</p> <p><b>課題</b> 異常な積雪のため、除雪作業に長時間を要した。</p>	<p><b>効率的な除雪の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■除雪応援の体制の充実</li> <li>■除雪能力の向上</li> <li>■除雪優先順位の設定</li> <li>■除雪しやすい道路環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他県、建設関連団体、企業との連携</li> <li>○除雪資機材の整備検討、オペレータの育成</li> <li>○防災活動拠点、拠点病院等へのアクセス確保のための優先除雪ルートを選定</li> <li>○雪崩防止柵、スノーポール等の設置、雪捨て場の事前選定</li> </ul>

## 4 今後の対応

